



2016-2017年度
東日本区 理事通信
第20巻02号
2016年8月1日発行



「理事メッセージ」

新年度が始まり、あっという間にひと月が立ちました。みなさまも、キックオフ例会や役員就任式等で気持ちを新たにワイズ活動に参加した時期ではなかったかと拝察いたします。

さて前期半年報がまとまりましたが、残念なことに昨年の前期半年報の数字（902名）とあまり変わらない会員数（908名）となりました。しかし、7月17日には東京多摩みなみクラブのチャーターがあり、他のクラブでもブリテンで、入会式が執り行われた報告が上がっています。これからが正念場と思います。1,000名突破は今期の達成目標です。夏の暑さにも負けない、熱い心で会員増強に取り組んでいただきますようお願いいたします。

猛暑が続きますので、みなさまのご自愛もお祈りしております。

「国際議員（アジア太平洋地域会長）候補者推薦のお願い」

2018-2020年度の2年間、アジア太平洋地域選出国際議員（同時にア太平洋地域会長を務めます。）を務める候補者の推薦依頼が国際本部から届きました。各クラブ会長に推薦いただきます。近々、各クラブ会長に推薦用紙とともに詳細をお送りいたしますので、他クラブも含め、ふさわしいと思われる候補者がいればご推薦ください。推

薦用紙はアジア太平洋地域会長に直接送付いただきますが、締め切りは2016年9月22日（木）です。

《参考》

現在アジア地域選出の国際議員は定数15名中1名で、現アジア太平洋地域会長のタン・ミン・シャオさん（台湾）が務めています。タン・ミン・シャオ会長の任期が2018年6月30日までとなっており、後任は2017年7月1日から次期国際議員として活動が始まるため、今、選挙をする必要があります。

なお、現在南太平洋地域の代表として、同地域会長のラッセル・ジョーンズさんが国際議員を務めています。8月4日付でアジア太平洋地域となるため、ジョーンズさんの任期が2018年6月30日に終了しても、後任は選任されません。

「ハンドブック&ロースターができました。」

大変遅くなりましたが、今年度のハンドブック&ロースターができました。各クラブご指定の送付先に届いていると思います。修正が必要な箇所があれば、東日本区事務所までご連絡ください。追って正誤表を作成し配布いたします。大変失礼をいたしました。

理事 利根川 恵子

前期半年報

2016年7月1日現在の東日本区の会員数が判明しました。

908名で、2016年1月1日の920名から12名の減となりました。下記は、部ごとの増減です。

	2015 7/1	2016 1/1	2016 7/1	直近 増減
北海道部	50	49	50	+1
北東部	125	127	137	+10
関東東部	136	138	134	-4

東新部	99	99	90	-9
あずさ部	182	185	183	-2
湘南・沖縄部	118	122	124	+2
富士山部	192	200	190	-10
東日本区計	902	920	908	-12

しかし、後述の東京多摩みなみクラブが7月17日にチャーターされたうえに、数名の入会も報告されているので、幸い、今日現在では、増加に転じています。会員増強事業主査の努力もさることながら、各クラブの皆さんの一層の努力をお願いいたします。

東京多摩みなみクラブ設立

東新部・東京まちだクラブと東京コスモスクラブがスポンサークラブとなり、学園都市、奉仕活動が盛んな多摩地区に、東日本区62クラブ目となる「東京多摩みなみワイズメンズクラブ」が、新クラブとして誕生しました。

そのクラブチャーターのお披露目とチャーターメンバー15名を祝福する、チャーターナイトがConti多摩センターに於いて執り行われました。

聖句・祈禱は、チャーターメンバー井上 富子ワイズが、「与える者になること」の大切さを述べられた。

(チャーターメンバー紹介の様子。)

スポンサークラブを代表して、東京まちだクラブ会長 後藤邦夫ワイズよりご挨拶があり、司会者伊丹ワイズより、ご来賓、区の役員が紹介され、次に設立経過報告があり、設立準備委員長の伊藤幾夫ワイズから、東京まちだクラブと東京コスモスクラブが、2015年の在京ワイズ合同新年会を共同ホストする、その準備過程で新クラブ設立の可能性に触れたことがきっかけとなったこと。新クラブ設立に至るまでには、多くのメンバーに関わ



って頂いたことによって、今日という日を迎えられたことへの感謝の言葉がありました。おめでとうございます。

当日は、メンバーの入会式および、国際への加盟認証状伝達式も滞りなく執り行われ、新クラブが正式に発足いたしました。

(報告) 16-17年度 会員増強事業主任 菊地弘生
バナーには多摩地域の名物である「たぬき」が登場しています。



新しい仲間

下記の方々が6月・7月に新しく入会されましたので紹介します。心から歓迎します。

三木 直子さん 横浜つづきクラブ
篠田 秀樹さん 東京江東クラブ (再入会)
野村 郁御さん 横浜クラブ
井上 勇二郎さん 仙台青葉城クラブ

地域事業 (CS) 報告

キーワードは女性 CS主任 加藤 博

第3のマドンナ(女性理事)、利根川年度がスタート致しました。今期は国際会長も女性ということで、まさにワイズ女性元年になりそうです。理事は会員増強を最重点を置き、「今動こう」というスローガンで臨まれています。地域奉仕事業も歩調を合わせてまいります。昨今の入会者も女性が多く、地域奉仕活動にも母の心・女性目線の切り口も必要かと思われれます。また、特にオリンピ

ックまではようこそジャパン掛け声の下、地方創生の声が高く、国際ワイズと致しましても、IBCを絡めた町興しに繋がる活動の検討もお願いしたいところです。さて、今期CSの重点ポイントは告知です。みなさんの様々な素晴らしい活動を広くお知らせして参ります。その筆頭であり、集大成がフォトコンテストです。是非とも思い切り活動し、思い切り宣伝しましょう。年間通して募集していきますので、宜しくお願い致します。まずは8月夏休みはCS強調月間です。思う存分活躍されることを期待しております。それでは、1年間よろしくお願い致します。

ユース事業報告

ユース事業主任 大久保 知宏

「STEP 交換留学生受入れ」

ユース事業委員会では、9月当初から3週間の予定で、STEP 交換留学生のエスベン・エネバルド・ランツガード君(デンマーク・19歳)を受入れることとなり、ホストファミリーの募集を行いました。その結果、吉田紘子ワイズ(東京むかで)、粕田晴之ワイズ(宇都宮)、水崎よし子ワイズ(長野)がホストファミリーとして受入れてくださることになりました。昨年の観光や視察中心のプログラムの反省から、今年度は山中湖センターでのキャンプ体験、宇都宮YMCAでの活動参加等も加えてのプログラムとする予定です。なお、エスベン君は9月22日に西日本区に移動し、さらに3週間滞在することになっています。

「第29回ユースボランティア・リーダーズフォーラム開催のご案内」

ユースボランティア・リーダーズフォーラムは全クラブからの支援金で成り立っていますが、ワイズメン側にはまだこのプログラムの意義が十分に伝わっていないようです。多数のワイズメンが、宿泊をして参加し、キャンプを楽しみ、リーダーを身近に知る機会としていただきたく、ご案内いたします。

日時：2016年9月9日(金)夕～11日(日)

場所：東京YMCA山中湖センター

費用：宿泊費 16,080円

申込締切日：2016年8月31日(水)

申込先：浅羽俊一郎(東京山手)

メネット会報告

メネット委員長 相磯 優子

「2016-18年国際新プロジェクト決定」

前年度末に、TOF（タイム・オブ・ファースト）の事業より2事業をメネット国際プロジェクトに選ぶ国際投票を頂きました。その結果、“シエラレオネの戦争被災児の教育”と“イタリア・ジデルノの「早く学び、賢くなろう」”に決定致しました。

「シエラレオネの戦争被災児の教育」

西アフリカ・シエナレオネ この地区は内戦後、多くの子供たちが、親を亡くしている。生きていくために、街頭での物売りや無給に近い違法なダイヤモンド採掘作業などでやっと生きている状態である。犯罪にかかわる子供も増加している。一方、教育現場は、学校の消失や教師などの海外諸国への人材流出、また残った教師も自身の生活に困窮しているなか、少ない物資で指導するといった、困難をきわめている状況である。児童、生徒が教育を受けるには、授業料の支払いや学用品の購入が必要である。

このような背景のもと、すでに寄付されたデスクトップ・コンピューターなど物資をシエナレオネに運搬するためのコンテナとコンピューター技師等の派遣を支援する事業である。

「早く学び、賢くなろう！—社会との融合を通して移民や難民のエンパワーメント」

イタリア・ジデルノ地区は多くの移民が上陸する地域であるが、ここ10年間、様々な理由での移民、難民が大幅に増加している。言語スキル、就労スキル、地元民との交流する場所の欠如により、移民たちは疎外されている。彼らが意味のあるしあわせな生活が送れるように、ジデルノ YMCA の建物で行われるイタリア語講座、イタリア文化の教育、法律などの講座等でイタリア人市民としての権利と義務を学び、また就労機会の促進の為の調理技術取得講座といったジデルノ YMCA のプログラムを支援する事業である。

どうぞ皆様、これらのプロジェクト事業のご理解と、国際プロジェクト献金へのご協力をぜひお願い申し上げます。

東日本区定款改訂委員会発足

東日本区定款改訂委員会委員長 辻 剛

2014-2015年度に設置された「東日本区定款見直しワーキングチーム」（小倉恵一チームリーダー（甲府））が1年半かけて作り上げた「定款見直し案」が今年度早々理事に提出されたため、広く全区をあげて「定款の見直し案」の検討を行ったうえで、定款を改訂するため、このたび「東日本区定款改訂委員会」が設置されました。

委員会は、ワーキングチームのメンバー（10名）、各部の代表（7名）、その他委員長が推薦し理事が任命した委員（5名）の計22名で構成され、私が委員長を務めます。

2016年7月30日（土）に第1回東日本区定款改訂委員会が開催され、これまでの定款見直しの経過、今後の改訂までのプロセス等が確認されました。このプロセスの中で一番大事なものは、広く全ワイズメンを巻き込んだ議論に発展させ、区内の意見を聴取し検討の参考にすることです。その

ために、今後、各クラブ会長を通じて、「改訂見直し案」が各メンバーに提示されます。ぜひこれからの東日本区のバックボーンとなる定款ですの

で、将来を見つめての率直なご意見を期待いたします。

第1回東日本区役員会開催



2016年7月9日（土）午前10：30—午後4：30、日本YMCA同盟会館において、出席者27名で開催されました。

区事業については、利根川恵子理事・加藤博地域奉仕事業主任・菊地弘生会員増強事業主任・太田勝人国際・交流事業主任・大久保知宏ユース事業主任の計画が審議・承認されました。

北海道部・北東部・関東東部・東新部・あずさ部・湘南・沖縄部・富士山部の各部長からは、今年度の積極的な活動に対する決意が述べられました。

文献・組織検討の宮内友弥委員長、LTの伊藤幾夫委員長、JEF運営の村杉克己委員長、東日本大震

災支援対策の利根川恵子委員長、歴史家の仙洞田安宏メン、ITアドバイザーの大久保知宏メン、トラベルコーディネーターの長澤山泰メン、広報・伝達（PR）専任委員の吉野勝三郎メン、YMCA連絡主事の光永尚生メン、定款見直しワーキングチームの小倉恵一メン、から抱負が述べられました。なお、メネットの相磯優子委員長は欠席のため、資料が閲覧されました。

続いて、議案審議・協議では、第一号議案「2015年度東日本区第4回役員会議事録承認」、第二号議案「2015-2016年度東日本区年次代議員会議事録承認」、第三号議案「東日本区定款見直し委員会の設置」、第四号議案「2016-2017年度東日本区主催の会合での礼拝献金贈呈先」、第五号議案「第2回東西日本区交流会」の諸議題が承認されました。

協議事項は、「Y's Men Internationalの日本語の公式名称を決め、使用可能にする」、「BF事業の使用済み切手収集合理化について」が取り上げられました。

最後に、二人の監事から、“全体として自分自身のこととしての発言と意見交換が活発に行われ、近年にない充実した役員会であった。”との講評をいただき解散しました。

熊本地震支援

熱海クラブと、同クラブがIBCを結んでいる台中クラブから、各136,000円の献金が寄せられま

した。日本YMCA同盟を通じて熊本MCAに寄付されました。

東日本大震災災害支援対策本部

東京クラブから17,000円の募金がありましたので、お知らせします。

第2回東西日本区交流会チラシ

理事通信第 20 巻 1 号で既報のとおり、2017 年 2 月 4 日(土)・5 日(日)に東山荘で開催予定のイベントのチラシができましたので、各クラブでPRして下さい。東日本区のホームページの“トップ”ページで見ることができます。

http://ys-east.jimdo.com/

今後の主要日程

8月1日(月)－7日(日)
国際ユースコンボケーション (於：台北)
8月4日(木)－7日(日)
国際大会(於：台北)
8月5日(金)－7日(日)
第23回 AIDS 文化フォーラム・イン・

YOKOHAMA (於：かながわ県民センター)
8月27日(土)
北海道部会
十勝クラブ40周年記念例会(於：帯広)
9月17日(土)
北東部会
盛岡クラブ10周年記念例会(於：盛岡)

前期区費等の納付のお願い

今年度前期の各クラブ会員数が確定いたしましたので、各クラブ会長宛に、区費等の請求書をお送りしていますが、お手元に届きましたでしょうか。

納期は、2016年8月15日(月)です。よろしくお願いたします。

1. 振り込みは「会長ファイル」にある振込用紙を利用し、必ず明細を記入してください。
2. 期日までにお振込みください。毎年、数クラブは振込金額の相違が発生しています。必ずご確認いただき、お間違いのないようにお振込みください。
3. ご不明の点は東日本区事務所または東日本区会計までお問い合わせください。

東日本区会計 吉田公代

《お願い/ 注意事項》



YMCA より

連絡主事 光永尚生

8月は、全国のYMCAのハイシーズンといえます。私たちが「心と身体の全人的成長を願う」YMCAの活動を実感できる季節です。各YMCAでは夏休みの期間には国内外キャンプ、スポーツはもちろんのこと様々な体験学習の機会と居場所が提供されます。全国規模の取り組みとしては、御殿場での全国サッカー大会、広島では全国水泳大会、東山荘では、地

球市民育成プログラムが国内外のユースの参加で開催されます。一方で9月には75日間のステップ研修が、全国のYMCAから、14名の参加で開催されます。そして、いよいよ東山荘が新本館の竣工を迎えます。皆様の、夢と希望が詰められた東山荘の新しい姿を是非ご覧ください。9月20日に新館オープン10月9日に献堂式が開催されますので、多くの皆様に、御来荘いただければ幸いです。また、来年の2月4日～5日には東西ワイズ交流会への御参加もお待ち申し上げます。時節柄、ご自愛ください。